

## はじめに

所沢市は、都心から30kmの首都圏に位置する、豊かな自然と都市機能が調和した、埼玉県南西部の雄都として発展してきました。しかも、今でも流入人口が微増している魅力ある都市であります。しかし、人口減少の流れは必ず来ます。地域の担い手である若者の減少や、地域のにぎわいの縮小など、本市においても喫緊の課題となってきます。



そのような中、東所沢における「COOL JAPAN FOREST 構想」の展開や、所沢駅周辺の再開発など、本市を取り巻く経済環境が大きく変化しております。この機を生かして、産業の活性化（≒元気づくり）を図っていくために、平成30年1月に『所沢市産業振興ビジョン』を策定し、「農業」「商業」「工業」「観光」の横断的な様々な取組を進めてまいりました。

また、所沢市は、「ゼロカーボンシティの実現」と「人を中心にしたマチづくり」を2大テーマに掲げ市政を展開しています。自然と調和した持続可能な営みを広げつつ、公共空間やその機能が社会みんなのものと認識されて、人と人との絆やコミュニティが大切にされるまちを目指しています。

本ビジョンの前期5年間においては、新型コロナウイルス感染症の拡大やグローバル経済の弱みが顕在化することにより、地域経済に多大な影響が及びました。本ビジョンの後期に当たる今後5年間では、生きる根本である「農」にも今まで以上に力を入れることを誓い申し上げ、「新たな幸せ観」となる「成熟」を目指し、また基本理念である「活力ある産業と豊かな暮らしの融合で まちの魅力を飛躍させる ところざわ」を継承しつつ、「ゼロカーボンシティの実現」と「人を中心にしたマチづくり」の観点を大切にして、産業を支える皆様（事業者や産業関連団体、市民、産業支援機関、国、埼玉県等の皆様）とともに、多岐にわたる取組を推し進めてまいります。

結びに、本ビジョンの改定にあたりまして、多大なるご尽力をいただきました「所沢市産業振興ビジョン推進会議」の委員の皆様をはじめ、さまざまな機会を通じてご協力いただきました事業者、関係団体の皆様に心から感謝と御礼を申し上げます。

令和5年3月

所沢市長

藤本正人